

機械遺産調査票記入要領

2006/4/12

機械遺産小委員会

申請者：申請者が複数の場合、代表者名を記入する。

提出年月日：提出日を記入する。

申請者連絡先：所属、郵便番号、住所、電話（FAX）、E-mail アドレスを記入する。

ふりがな：資料（機械遺産候補）名称の読み。

資料名称：資料（機械遺産候補）の名称を記入する。

〔注〕名称については、同一の資料についていろいろな呼び方をするものが多い。例えば、ある発電用の水車では、「フランシス水車」「横軸単輪複流フランシス水車」「洋式タービン」「フランシス型ランナ」「発電用水車」「〇〇発電所フランシス水車」などのように、形式、型式を付けたり、固有名を付けたりと様々である。該当資料に学術的名称をどう与えるのか、本学会の大きな課題であるが、当面会社や博物館などで付けられている名称を尊重し、固有名がある場合は固有名を記入する。別称については「／」で区切り、記入する。

例 注水式焼玉軽油発動機／焼玉エンジン

カテゴリー：4つのカテゴリーに Site、Landmark、Collection、Documents に分類する。

（1）Site：例えば、広域的に分布する機械と機械関連システムなど。

（2）Landmark：例えば、機械工場または機械工場群（その機械・設備を含む）など。

（3）Collection：例えば、機械、機器類など。

（4）Documents：例えば、設計仕様書、教科書など。

資料の所在地：所在地を記入、会社、博物館などにある場合は施設名も記入する。

管理者名と連絡先：資料の管理者、本学会機械遺産委員会により問い合わせできる者の氏名、連絡先（住所など）を記入する。

申請理由：200字～300字程度にまとめ、記入する。

申請者評価項目：各評価項目について、申請者の判断により評点で評価する。

なお、同一の評価項目について、機械遺産委員会においても評価します。

該当しない評価項目については「－」を記入する。

文化財指定等：指定団体、指定年月日などを記述。

遺産現状：資料の保存されている状態。

※学会記入欄には申請者は記入しないで下さい。

【裏面】

資料概要：自由記述。製造年、製造会社、資料の概要説明。写真を必ず付けて下さい。図面などがあれば付けて下さい。

添付資料一覧：資料の調査報告書、概要説明補遺など、添付資料名を記入する。

調査年月日：現地調査日。

調査者：資料の調査者1は申請代表者氏名とする。以下、調査者が複数の場合は、全員の氏名を記入する。